

# 窓

— 同窓会だより —

No. 108 (令和 元. 8. 10発行)

富山県立魚津高等学校同窓会



- 1面 同窓生寄稿
- 2面 同窓生寄稿
- 3面 同窓生寄稿 (50回生より)
- 4面 同窓会報告、魚高生の活躍

魚津高等学校創立120周年おめでとうございます。本校は、明治32年創立の富山県第三中学校等を前身として昭和23年4月発足、同窓会員は、約三万人で富山県下有数の規模を誇っております。

創設の歴史を振り返りますと、当時の魚津町は一万四千人足らずの漁村で、農村部の子弟が中学進学を目指し始めた時期でありました。「県東部地区の中心である魚津町に第三中学校を作るべし」との声が上がり、明治31年12月の県議会に県立魚津中学校の設立議案が提出され、既設中学校の未整備を理由とする反対派と、教育機関の普及を先決とする賛成派とが、激しく対立し、採決の結果は賛成15、反対15の賛否同数で、決定は議長の裁断に委ねられました。



安太郎氏は、呉西の石動町出身でありましたが、「既に呉西に第二中学校がある以上新川地区に第三中学校を配し、教育の機会均等を図るのが妥当」との判断を下しました。

この議長の公平無私な決断は後々まで県政史に美談として語り継がれました。この決断がなければ県の当時の財政難から、魚中創設はかなり遅れていたと思います。同窓生はこの時の議長の裁断の一票の精神を常に留意すべきであると思います。

私は当校90周年、100周年および111周年の各式典に参加し、100周年式典の際には、同期一同で、校舎の玄関前に記念樹を植栽しております。我ら同期5回生は、6、3、3制導入の新教育制度のスタート、即ち中学校3年の義務教育化、新制高校入学の草創期、第1回

の入学であります。校舎自体も未整備の状態です。新制魚津高校がスタート致しました。当時、吉本健一先生(国語担当)から新校歌の制定の秘話、作詞藤島宇内、作曲団伊政磨先生に依頼の趣旨を伺いました。また、新しく採択された校訓の「明るい協力 携まぬ勉強」は、日々の学生生活のモットーでありました。学生活動は、魚中の質実剛健の精神を踏襲し、書道、野球、バレーボール、ラグビー等文武両道の新制高校として日夜活動を致しました。

私は、東京で就職し、ご縁があつて団伊政磨先生に会う機会もありましたが、団先生は、文化功労章も受賞され、益々のご活躍中でしたが他界されました。

## 創立120周年を祝う — 眞の国際人を目指して —

高見 和明 (魚高5回)

先生の作曲による校歌は、我々の誇りであります。

私は、現在弁理士(PATENT ATTORNEY)として、知的財産権関連の業務に従事しており、日本人の発明、商標の日本特許庁及び外国特許庁への出願、外国人の発明、商標の日本特許庁への出願の代理の業務、さらに特許権等についての争訟関連業務に従事しており、また知的財産権関連の国際会議および米国、中国など各国特許庁での会議にも多々参加しております。

過去二度にわたりジュネーブにある国際連合の専門機関である世界的知的財産権機関(WIPO)に勤務し、経済のグローバル化に対応して、特許、商標、デザイン、ソフトウェア、著作権などの知的財産権について、各国の制度を調和して、新しいルールを制定するための業務に従事して来ました。今後益々グローバル化が進展するところ、国際人になるためには、日本人として自覚し、日本の文化や習慣を大切にして自分のものとして明確に認識してこそ、眞の国際人であると思っております。THINK GLOBALY “そして、ACT LOCALY”の精神で邁進したいと存じます。

東京魚高会を振り返りますと、第1回設立の会合は、昭和38年(1963年)2月24日に品川プリンスホテルで開催され、木下学校長のご出席を仰ぎ、89名が参加しております。私は、平成14年(2002年)11月16日、新宿三井倶楽部、126名参加、平成16年(2004年)11月7日、新宿三井倶楽部、156名参加の会合の際に会長を務めさせて頂きました。

最後に本校創設時の精神を真に理解し、呉東の雄として母校が発展”富山湾その波に、アルプス明し雪は燃ゆ、紅は我が心”の校歌の下、さらに繁栄することを祈念致します。

(弁理士 武和国際特許事務所 日本弁理士会監事 国際弁理士連盟理事 国際弁理士連盟名誉会員 アジア弁理士会会員 元東京魚高会会長 魚高5回)

## 空を飛ぶ



亀田 瑞穂 (魚高30回)

下からの強風圧でドーム内を身体浮遊できる施設が埼玉にあつて早速体験。体の一部が必ず何かに触れながら活動する人間にとつて接着からの解放は人生観に少なからぬ影響をもたらす。「解放」人類が最も好む言葉の一つだろう。

四十一年前魚高三年の体育大会オールAの応援団長を務めた。夏休み後半から九月の大会当日まで、仲間と様々な準備と練習のために学校の内外を駆け回り回る熱中の日々。我を忘れて気持ちは空を飛んでいたような気がする。応援優勝を得、団のみんなが胴上げをしてくれて本当に空を飛んだ。宙に浮いたその瞬間、魂のかけらが勝手に私から抜け出して浮遊し始めた。

十年前の同級会の際、同級生の親御さんが当時新進のカラー8ミリフィルムで大会の様子を撮影しておられたその動画が披露されたとき、それは感動ものだった。え、こんなに残ってたんだ。子供のとき河原で遊んでいてうっかり流して無くした大事なおもちゃを、大人になつて海岸を散歩していて偶然見つけたようなそんな感動。六年前に母校に教員として戻れた際、まずグラウンドに行き空を見上げた。あの時抜けた魂の一部はまだブカブカと楽しそうに浮かんでいた。

創立百二十年。長い歴史。記念誌の編集に携わる。目玉企画として学校の上空からの動画をドローンで撮影することになった。六月の末の日曜日に試運転があり立ち会った。試し撮りの上空百メートルからの風景をモニターで見たととき、私の心中の何かと何かがちやんと合わさつて納得というか安心感というか、そういう収まりを感じた。ずっとここに。ずっとここに。そういつた類の。

## 退職を機に思うこと



清河 周悦 (魚高30回)

早いもので、ついに定年の年を迎えました。昭和59年4月に泊高校に新規採用教員として採用され、泊高校4年、滑川高校15年、富山中部高校8年、そして母校である魚津高校で9年勤めました。36年間の教員生活にピリオドを打つことに対する感傷はあまりなく、定年後のことを考えて今から胸をワクワクさせています。

魚津に生まれ魚津に住んでいる私にとって魚津高校は、常に家から一番近い高校(職場)でした。しかし、なかなか母校に勤務させてもらうことができず、赴任したのは50才を過ぎてからでした。講堂と図書館、第二体育館以外の建物はすべて新しくなっており、月日の流れを感じましたが、久しぶりに聴いた校歌に懐かしい思いがこみ上げてきたのを今で

も覚えています。また、母校での勤務は大変感慨深いものがあり、母校で働けることを感謝する日々でした。

9年間という短い期間でしたが、魚津高校にとつては大きな転換期でした。理数科が廃科になり一学年5クラス体制になった7年後に、生徒減のため一学年4クラス体制になつてしまいました。教職員数減、部活動の縮小・予算減など、生徒数が減ることは学校の様々な活動に大きく影響してきます。OBとしては、様々な面で昔と比較してしまい、もっと頑張れるのではないかと生徒に期待してしまふのですが、かつてのような蜃気楼旋風は吹きません。しかし、個人的には、再び風が吹いてほしいと思っています。微力ながらも母校に貢献でき、そこで退職できることに大変感謝しています。魚津高校の発展をこれからも祈念しています。



## あれから23年 今年度幹事学年

(50回生より)

### 学友と過去の自分自身と

ブルーベリー狩り体験園  
むかいさんちの農園 園主

向中野 芳 和



私は数年前、ブルーベリー狩り体験園の園主になりました。この寄稿文が皆さんの元に届くころはちょうどその収穫期。今年も多くの方が足を運んでくださり、笑顔にいつまでも農園になって欲しいなと思っています。さて、みなさんは、魚津高校の伝統行事「コンパ」を覚えているでしょうか。学生自身で計画をたて、宿泊して帰ってくるというものが、親睦を深めることを目的としていましたが、言われたことをやるだけの経験しかなかった私には、自ら考え行動する大切さを知るよいきっかけになった。気がします。

しかしながら、私はそのコンパのことを全く覚えていません。ただ、学友の話によると「ブルーベリー狩りに行ったよね」とのこと。これは自分自身でも驚いた衝撃の事実。このみんなとの出来事が、今の自分を大きく形作った可能性もありそうで、なんだか感慨深いものがあります（全く覚えてないけど）。

同窓会は、こうした過去を知る学友たちと再開できるチャンス。話の花を咲かせながら、忘れてしまった自分自身の過去に出会えたなら、ちよっぴり素敵かもしれませぬ。

## 空があまりに夏なので

魚津市立よつば小学校通級指導教室担当

瀧本 和敏



入学当初、私は勉強も部活もやる気の無い、夜更かし大好きな、遅刻の多い生徒だった。遅刻をしたことのない皆さんは知らんかもしれんが、当時遅刻をした場合、遅刻の理由を所定のファイルに書き込み、職員室で先生の許可をもらわなといけなかった。何となく他の先生とは違う空気をT先生に感じていた私は、T先生に許可をもらうのが日課のようになっていたような気がする。

そんな二十四年前の梅雨明けのある朝、急げばギリギリ間に合う時間、家を出た瞬間感じる南国のような空気に。太陽光線の先にある空は、青と白のコントラストがあまりにも夏で、TUBUを歌いたくなるような解放感に満ちていた。「こんな日に急ぐ人間になっ

てはいけない。」そんなことを思った。私は迷わず遅刻理由に「空があまりに夏なので」と書いた。何と言われたかまでは覚えていないが、T先生は何か嬉しそうにサインをしてくれたことだけは、ハッキリと覚えている。そして同時に、成績とかではない、人間としての私を認めてもらえたような気がして嬉しかったことも覚えている。

その後、二、三年生とT先生に担任してもらったことになったのだが、今この仕事を続けていられるのも、「必ずお前にしか助けられない子供がいる。」というT先生の言葉が私を支えてくれているからだ。T先生があの夏

の日の私を認めてくれたように、私らしさを忘れずに、その子らしさを認めていってあげたい。

## 紅のかげら

木村 さやか



「紅は我が心……」  
口ずさんでみて思い浮かぶのは、昼休み音楽室から聞こえてくるドラムの音、講堂の傍になるザクロの実、山岳部の部室のカビ臭さ。恰好ばかりつけて、教室ではないどこかに心を奪われていたあの頃。

それが今、皮肉にも毎日教室にいる。思春期真っ盛りの中学生に囲まれ、一緒に笑ったり泣いたりしている。何年経験を積んでも、正解のない問いに頭を悩ませる日々だ。振り返ってみると、魚高の先生方には言外に滲み出る個性があつたと思う。授業中のこぼれ話や燕岳のテント場でのたわいもない会話、紅のかげらとなって（授業の内容よりも）私の中に残っている。

教師である以前に、人間としての魅力があるか否かを生徒は敏感に感じ取る。のっぺりとした個性のない大人になつていないか、伝えるべき言葉をもっているか、自分自身に問うてみる。燃え滾るような紅には程遠いが、紅のかげらを集めて一生懸命磨き続けるしかない。それが、小さくても誰かの心に残るかもしれない。

不惑の歳に、同じ場所で時を過ごした同級生たちと語り合ってみた。あの頃手にした紅のかげらは、どんな輝きを放っているのだろう。

# 第18回東京魚高会 (東京支部)

## 総会、懇親会を開催

美浪 節 (魚高22回)



本校創立120周年記念事業に向けた本部同窓会活動を支援するため、2年毎に秋開催される支部総会を、今回は魚津同窓会本部幹部役員4名をお迎えして6月29日に東京市ヶ谷アルカディアで開催した。10月4日に行われる120周年記念式典の実行委員長大橋聡司氏(33回)が、70名の出席者に向けて、事業の内容説明と募金の協力要請を行った。

第1部では中尾哲雄同窓会名誉会長(7回)が「本校120周年の記念事業に向けて」という演題で講演を行った。  
第2部では元支部長高見和明(5回)の「正にグローバル時



代到来時代、真の国際人を目指し、日本人としての自覚、日本文化や習慣を大切にして自分のものとして認識し、本校から国際人を目指そう」という挨拶を皮切りに、出席者全員で懇親会を大いに楽しんだ。歴史ある本校を象徴する同窓生5回生から40回生の幅広い年次同窓生の集いと成った。

### 魚高生の活躍 (令和元年4月~7月)

#### ○陸上競技部

- ・第24回富山カップ陸上競技大会
  - 共通女子200m 2位 河中胡生芽(3-2)
  - 共通女子400m 3位 河中胡生芽
- ・第72回富山県高等学校陸上競技対抗選手権大会
  - 共通女子400m 1位 河中胡生芽
  - 共通女子200m 2位 河中胡生芽
  - 共通女子400mH 2位 河中胡生芽
  - 共通女子三段跳 3位 関口 陽菜(3-3)
  - 共通女子走幅跳 6位 関口 陽菜
  - 共通女子4×100mR 4位 高岸 愛可(1-2) 河中胡生芽 関口 陽菜 西島 彩乃(3-5)
  - 共通女子4×100mR 6位 高岸 愛可 大澤 文音(2-3) 西島 彩乃 河中胡生芽
- 女子トラックの部 5位 魚津高校
- 女子総合の部 5位 魚津高校

#### ○卓球部

- ・平成31年度富山県高等学校春季卓球選手権大会
  - 男子シングルス 2位 河村 直喜(3-1)
- ・令和元年度富山県高等学校総合体育大会卓球競技
  - 男子シングルス 3位 河村 直喜
  - 男子学校対抗 3位 魚津高校

#### ○柔道部

- ・第68回富山県高等学校総合体育大会柔道競技
  - 男子個人66kg級 5位 板澤 俊介(3-3)
- ・第60回北信越高等学校柔道大会
  - 男子個人66kg級 5位 板澤 俊介

#### ○男子ソフトテニス部

- ・令和元年度ソフトテニス新川地区総体(金尾杯)団体戦 優勝

#### ○水泳部 北信越大会出場

- ・第72回富山県高等学校選手権水泳競技大会
  - 200m平泳ぎ 3位 山本 稜弥(3-5)
  - 400m個人メドレー 5位 山本 稜弥
  - 400m自由形 4位 館 慧樹(3-2)
  - 1500m自由形 4位 館 慧樹
  - 200m個人メドレー 8位 館 慧樹
  - 50m自由形 4位 田村 和暉(2-3)
  - 400mフリーリレー 4位 館 慧樹 伊原 遼 山本 稜弥 田村 和暉
  - 400mメドレーリレー 5位 館 慧樹 堀内翔太郎 伊原 遼 田村 和暉
  - 200m個人メドレー 7位 伊原 遼
  - 50m自由形 8位 堀内翔太郎
  - 100m平泳ぎ 8位 堀内翔太郎
  - 男子総合 4位 魚津高校

#### ○少林寺拳法

- ・第68回富山県高等学校総合体育大会少林寺拳法組演武 1位 松島航太郎(2-1) 谷口 浩輝(1-2)

#### ○将棋部

- ・第55回全国高等学校将棋選手権富山県大会
  - 男子団体戦 1位 高須 匠(3-2) 荒井 悠希(1-3) 長井 悠真(1-4)
  - 女子個人戦 3位 清田有希子(2-2)
  - リーグ戦A組 1位 大澤 尚士(1-3)
  - リーグ戦A組 2位 上野 優希(1-1)
  - リーグ戦B組 2位 木下 雄太(1-4)
  - 男子個人戦 5位 高木 誠樹(3-2)

#### ○放送部

- ・第58回富山県高校放送コンテスト
  - 創作ラジオドラマ部門 優秀賞
  - ラジオドキュメント部門 優秀賞
  - 創作テレビドラマ部門 優良賞

#### ○ダンス同好会

- ・全国高等学校ダンスドリル選手権大会2019 甲信越大会
  - HIPHOP男子部門 1位 全国大会出場
  - HIPHOP女子部門Small編成 1位 全国大会出場
  - HIPHOP男女混成部門Small編成 1位 全国大会出場

#### 原稿募集のお願い

本校同窓生で「こんな方を知っている」「こんな方が活躍している」という方はいませんか?自薦・他薦は問いません。原稿をお寄せ下さる方募集しています。

#### 富山県立魚津高等学校同窓会

〒937-0041 富山県魚津市吉島945番地

TEL (0765) 22-0221

FAX (0765) 22-9970

#### 同窓会ホームページ

<http://uozu-dosokai.net/>

#### 魚津高校ホームページ

<http://www.uozu-h.tym.ed.jp/>